

## 学び続ける先生方2023①

令和5年5月17日（水）に「第1回聖籠町中学校授業づくり研修会」が聖籠中学校で行われました。

新潟市立白新中学校の田村友教様を講師にお招きし、初めに聖籠中学校の2年生に対して、実際に数学の授業を行っていただきました。導入で、いろいろな角度から考えることの大切さを、だまし絵を使いながら理解させ、次に簡単な計算問題から課題を出し、生徒に「こうなるだろう」と予測させ、実際には予想と違う結果が出ることで、「どうしてだろう」「もっと調べたい」という思いを引き出させ、さらに、わかったことを「伝えたい」「聞きたい」「話したい」という思いにまで発展させていく、生徒の主体的に学ぶ力が育成された授業でした。

研修会前半では、田村様より「授業づくりで大切にしていること」という演題で講演していただきました。生徒が10年後の社会で生きていくために必要な力とはどういう力なのかということから考え、その力を伸ばすために授業観や指導観を変えていかなければならないことや、生徒の「～したい」という思いを引き出させる授業、一斉授業（Teaching）と子供主体の学び（Coaching）のバランス等、田村様の豊富なご経験と具体的な実践例から、多くのご指導をいただきました。参加した先生方からは、課題設定の大切さや育成したい資質を明確にした上で授業を組み立てていくこと等、今後の授業に生かしていきたいという感想が多くありました。

また、研修会後半では、聖籠中学校としての今年度の重点である「インクルーシブ教育」を中心に、日々の授業の中での悩みや解決方法、今後実践していけることなどを話し合い、今後の授業改善に役立てられることを実感した研修会でした。第2回は11月に行われます。

2023年度も、聖籠町の子どもたちのために、先生方は学び続けています。

